男子ホッケーU18日本代表チーム
日韓交流事業　（韓国：大邱市）

日　付	2017年10月29日　11:30～		
場　所	安心体育公園　大邱ホッケー場	天　候	晴れ
試　合	第2戦	通算結果	日本　0勝2敗

RESULT

Country				Country
日本 JAPAN	1	0 - 0	5	韓国 KOREA
		0 - 2		
		0 - 2		
		1 - 1		

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✔	3	安川　楽(GK)			
15	6	清水　遥斗			
15	7	濱田　康平			
✔	8	萩塚　　拓			
✔	9	岩﨑　和也			
✔	11	田村　圭梧			
✔	12	大嶋　鴻太(C)			
✔	13	松本　和将	3		
✔	14	沼田　空			
✔	17	北村　柊希			
15	18	深見　泰雅			
✔	19	藤沢　颯人			
5	22	河邉　皓星			
✔	23	丹羽　巧磨			
11	24	川原　大和			
✔	25	古川　裕大			
Coach		三上　克典			
Manager		仙名　洋一			
UMPIRE		SHIN DONG YOON			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✔	1	MOON EUN TAEK(GK)			
✔	3	PARK YO SEP(C)			
✔	6	KIM JIN SEOK			
✔	7	GO SOUNG HOON			
25	8	YU SEON IL			
20	9	SON DA IN	43		
✔	10	PARK JUN SEOK	51		
✔	11	LEE CHANG MIN			
10	12	CHO SUNG BIN			
10	13	KIM JUN SU			
✔	15	BAE SOUNG MIN			
✔	17	KIM HYUN WOO			
29	19	PARK JAE HUN			
✔	23	JUNG SUNG HYUN			
✔	25	JANG PIL HYUK			
✔	32	LEE HYE SEUNG			
Coach		LEE SEONG JIN			
Manager		YOO MOON KI			
UMPIRE		JON HONG KWON			

Team	Minute	Name	Action	Score
KOR	20	LEE CHANG MIN	FG	0－1
KOR	27	LEE CHANG MIN	FG	0－2
KOR	40	LEE HYE SEUNG	PS	0－3

Team	Minute	Name	Action	Score
KOR	43	JANG PIL HYUK	PC	0－4
KOR	47	LEE CHANG MIN	FG	0－5
JPN	55	河邉　皓星	PC	1－5

日韓交流事業　第2戦

第1Q、日本のセンターパスにより試合が開始される。第1戦で敗戦を喫している日本は、試合の立ち上がりから韓国へ早いプレッシャーをかけ続けチャンスを作る。2分＃13松本のシュートなど再三にわたり韓国ゴールへ迫るが決めきることができない。終始日本のペースで試合が進むものの得点を奪えず0－0でQ1が終了する。

第2Q、Q1同様に日本のペースで試合が進む。16分＃23丹羽がライトサイドからドリブルで崩し、プッシュシュートを打つも枠を捕らえることができない。すると20分、韓国は日本のレシーブミスから＃9LEE CHANG MINがGKと1対1になり、これを確実に決める。思いもよらない展開から韓国が先制する。同点に追いつきたい日本も直後の21分にPCを獲得。＃12大嶋が良いタイミングでタッチシュートするもこれも枠を捕らえられない。その後もオープン攻撃から相手DFを崩しゴール前まで迫るもシュートミスが多く得点を奪えない。そんな中、韓国はカウンターからチャンスを作る。27分レフトサイドからのセンターリングを中央で＃9LEE CHANG MINがうまく合わせ追加点を奪う。何度も決定機を作った日本ではあったが決めきれず、逆に少ないチャンスを確実に決めた韓国は2点差をつけQ2を終了する。

第3Q、日本はターンオーバーからの速い攻撃を仕掛けるがラストパスが合わず決定機を作れない。そんな中、40分またしても日本はレシーブミスから韓国にPCを与えてしまう。このPCを一度はGK＃3安川がセーブするもリバウンドのシュートがDFの足に当たりPSとなる。これを韓国＃32LEE HYE SEUNGが左下に冷静に決め、日本を突き放す。立ち上がりからハイペースで戦ってきた日本は、この時間から徐々に動きが悪くなる。その隙をついて韓国が猛攻を仕掛け、43分PCから＃11JANG PIL HYUKがスウィープシュートを決め、0－4としてQ3を終了する。

第4Q、流れを変えられない日本は、47分にも韓国＃9LEE CHANG MINにレフトサイドを突破され、豪快にヒットシュートを決められる。奇しくも第1戦目と同じ展開となる。その後も日本は中盤でのミスが目立ち、なかなか反撃を仕掛けることができない。しかし、そんな中でも少ないチャンスから52分に＃17北村がリバースシュートを放つもGK正面。55分には＃22河邉がライトサイドからドリブルできれこみPCを獲得。＃25古川のフリックシュートはGKに阻まれたが、リバウンドを＃22河邉がを押し込み、意地の1点を奪い1－5としたが、追加点は奪えず試合終了。2戦目もミスが目立った。特に相手ゴール前でのシュートミス、自陣での失点につながるようなミスが多く、最終的には流れまで変える形となった。残すところ最終戦のみとなったが、今から成長していく若い世代だけに失敗を恐れず勇猛果敢に戦ってほしい。

日本	9	シュート数	7	韓国
	3	PC数	3	

次戦（第3戦）　10月31日 11:30　～　日本対韓国

校閲：男子U18ヘッドコーチ　三上　克典

記責：男子U18アシスタントコーチ　酒井　健之